

『ZEN ホメオパシーによるインナーチャイルド癒しと 円形脱毛症が大きく改善したケース』

小林 智美（こばやし さとみ）

JPHMA 認定ホメオパスNo.0984

ZEN メソッド修得認定No.000394

JPHF 認定インナーチャイルドセラピストNo.0169

JPHMA 認定アニマルホメオパスNo.A0150

日本ホメオパシーセンター東京総本部

【目的および主訴（症状）】

〔主訴〕 ①ストレス性円形脱毛症

②コロナワクチンのシェディングによる心身の不調

ストレスのかかる状況で起きる過剰な抜毛、ストレス性円形脱毛症の症状や
コロナワクチンのシェディングによる心身の不調、自分で自分を傷つける行動
パターン、人間関係の悩みなどを ZEN ホメオパシーの実践とインナーチャイルド
を癒すことにより大きく改善したケースです。

●クライアント 女性 30 代

●症状

①ストレス性円形脱毛症

②シェディングによる不調（過剰に髪が抜ける）

③シェディングによる不調（精神面の不安定・恐れ・不安）

④月経前の心身の不調

⑤月経不順

⑥自分を傷つける・責める

【方法】

① ZEN メソッド（三次元処方）によるレメディーの処方

・臓器サポート：随時サポートチンクチャー＋ティッシュュソルト
＋サポートレメディー

・LM ポーテンシーのレメディー

有益ミネラルレメディー、マヤズムノソース、症状に対応するレメディー

- ② 言葉のレメディー
- ③ 水（ウォータースピリット）のレメディー
- ④ インナーチャイルド癒し

【生い立ちとその影響】

- ・クライアントが生まれる前、両親にはそれぞれ別の家庭があったことや母親が精神的に病んでいたことから、家庭内が不安定で親に望まれ祝福された出生ではなかった。幼少時は父母に代わり主に祖父母から多くの愛情を注がれ養育されるが、両親の離婚、母の精神的な不安定さからの暴力・暴言、父母のコントロールの強さは、クライアント自身に自己不信、不安感、無価値感、自分で自分を苦しめる行動パターンなどとして影響を与えたとクライアントは感じています。

【1回目】 2022/11/2

- 1:779# 不安:
- 2:1747# <不安から:
- 3:992# 脱毛 - 頭の:
- 4:1438# 発疹 - 環状の(円盤状の、貨幣状の):
- 5:2038# <月経前:
- 6:515# 月経 - 遅れる;長すぎる周期:
- 7:504# 卵巣
- 8:1700# <天候 - 変化:
- 9:1702# <寒冷から

※TBR : The Bonninghausen Repertory 以後、TBR と記載。

TBR にて以下のようにレパートライゼーションした。

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sep.	9	25	3	1	3	4	4	4	3	1	2
2	Sulf.	8	21	3	1	4		4	4	2	2	1
3	Graph.	8	20	3	1	4		2	4	2	2	2
4	Merc.	8	17	2	1	3		3	3	2	2	1
5	Calc.	8	17	3	1	3		4	2	1	2	1
6	Nat-c.	8	12	2		1	3	1	1	1	1	2

【レメディー選択の根拠】

- ・サポートの免疫スーパーグレイト：免疫を高めワクチンのシェディングからの心身の不調を改善するために選択

- Sel、Bor、Zinc：円形脱毛症の改善に。
- Graph：TBRで3位。優柔不断。
- Carc：癌マヤズム - 無価値感、感情の抑圧。
- Sep：TBRで1位。月経の問題や婦人科系の症状、ストレス性円形脱毛症に。

●1回目 2022/11/2

コロナワクチンのシェディングへの不安と体調不良、円形脱毛症の症状、以前からあった慢性的な婦人科系の症状（月経不順や月経前の心身の不調など）を中心にレパートライゼーションし、以下のようにレメディーを選択した。

随時：サポート免疫-SG（スーパーグレイト） + Sel.(セレンウム) + Bor.(ホウ砂)
+Zinc.(亜鉛)
朝：Graph.(黒鉛) + Carc.(ノゾース)
夜：Sep.(イカ墨)

●経過

〔主訴〕

- ① ストレス性円形脱毛症・・・改善
- ② シェディングによる不調（体調面）・・・大きく改善
- ③ シェディングによる不調（精神面）・・・大きく改善
- ④ 月経の問題・・・月経前の心身の不調あり

〔レメディー後の変化〕

•【精神面】

言いたいことを言えるようになったり、会社の上司に怒りを出すようになった。
怒り、悲しみ、寂しさなどの感情があふれ出る。

•【体調面】

感情が沢山でるようになり、身体は比較的楽になる。
ストレス性円形脱毛症はだいぶ良くなってきたが、髪が生えてきたところとは違う場所に円形脱毛症ができたり、ワクチン接種した人と一緒にいたり、疲れたりすると髪が抜けやすい。

【1年後】 2023/11/1

●ストレス性の円形脱毛症：改善

前頭と頭頂2か所のみ薄いところがあるが、そのほかの部分は髪が復活。

※髪の状態はつやがあって新たに生え揃ってきた部分は以前よりきれいになっている。

●月経前の心身の不調

過食、甘い物、お菓子などを食べるのは前より落ち着いてきた。月経周期は長め。

●頭痛と胃の不調：気圧の変化で頭痛や吐き気、食べ過ぎ、脂っぽい物から胃の不調。

●精神面の気づき：職場で注意を受けると自分を否定されたと思い、落ち込む。また、すぐに自分を正当化しようとすることに気づいた。

1：18# 前頭部:

2：1051# 圧するような痛み) - 内側部分に:

3：1712# <湿った天候

4：1743# <雷雨:

5：2173# <胃の不調から

6：389# 吐き気 - 胃の中:

7：1791# <脂の多い食物:

8：515# 月経 - 長すぎる周期:

9：1760# <傷ついた感情から

TBR にて以下のようにレポートライゼーションした。

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Puls.	8	24	3	2	2		4	3	4	4	2
2	Sulf.	8	23	3	3	3		2	3	3	4	2
3	Nat-m.	8	21	4	3		1	1	2	2	4	4
4	Nux-v.	8	20	4	3	1		4	3	2	1	2
5	Sil.	8	19	4	2	1	3	2	2	1	4	
6	Phos.	8	19	4	3	1	2	2	3	2	2	

【レメディー選択の根拠】

- サポートφ自己卑下：自分を責め、否定することをやめて自分を大切にしていくなために選択。
- Adren-c-m-C：ストレスからの副腎の疲労に対して。
- Staph：自責の念、感情の抑圧に。
- Phos：周囲の影響を受けやすい、過敏さに。
- Syph：梅毒マヤズム - 自虐的、怪我をしやすい傾向。
- Follic：過去に摂取した薬剤の影響を取り除くために。
- Puls：TBRで1位。消化器系の問題に。

●【1年後】 2023/11/1

消化器系の不調や痛みの改善とインナーチャイルドへの気づきを深め、自分を大切にしていけるためのサポートを目的に以下のようにレメディーを選択した。

随時：サポートφ自己卑下 + Adren-c-m-C (アドレナルコンビ)
+ Staph.(ヒエンソウ)
朝：Phos.(燐：元素) + Syph.(ノゾース)
昼：Follic.(人工女性ホルモン)
夜：Puls.(セイヨウオキナグサ)

【インナーチャイルドの痛み・気づきと癒し】

- ・上司に仕事の事ではなく、自分の性格などのことで指摘を受けた時に自分の存在を否定されたと感じすぎて落ち込んだ。叱られると否定されたと感じて、すぐ正当化しようとしていることに気づいた。
- ・保育園の頃、お迎えを待っていつも最後まで残っていたことは幼い頃、一番辛い時間だったが、園長先生はそのときのことを「〇〇ちゃんと一緒にいて楽しかった」と言ってくれた。愛されていないと思っていたが、自分を思ってくれている人がいたとわかり癒された。

●経過

【2年半後 2025 年 3 月】

〔主訴〕

① ストレス性円形脱毛症・・・大きく改善

改善後、不安な事や仕事や人間関係のストレスなどから再発することがあったが、順調に改善してきた。しかし、良くなっているのにこの2年半ほどはずっと帽子を被って

いた。前回のサポートシンクチャー「魂の目覚め」を摂った後、帽子をはずしたら気持ちも変わった。それ以来、帽子を被らず長髪の髪型で気持ち良く過ごしている。

【3年後】 2025/11/19

〔主訴〕

① ストレス性円形脱毛症・・・ひと月ほど前から、また円形脱毛症が再発する。

イライラしたり頭に血が上ると頭皮が痛くなり抜ける感覚も分かった。

原因は去年から副業もしてハードスケジュールだったり、同僚にパワハラみたいな事をうけても我慢をずっとして睡眠不足の毎日でした。

休息したり、嫌な人と距離を置けばいいのに自分を散々痛めつけてしまうという、いつものパターンから抜け出せません。

●経過

〔主訴〕

① ストレス性円形脱毛症・・・改善してきた。

ハゲた部分が少しずつ生えてきたり、最近は髪のパリュームが出てきたように感じていたら周囲の人からも言われるようになった。

〔精神面〕

- ・寂しさや孤独、自分自身への不安を感じる。
- ・気が合う好きな人に出会うが、子供時代の辛い気持ちを思い出させる人でちょっと連絡がこないだけで嫌われたのではないかと思ひ悩む。

●2026/3/25 子供時代の親から見捨てられた思いにサポートφ見捨ててをお出しする。

言葉のレメディー・・・過去の癒えていない傷＝インナーチャイルドを癒すチャンス。見捨てられるのではないか、裏切られた思いとか、これを感じている小さな〇〇ちゃんの気持ちに寄り添って慰めてあげましょう。してほしかったことをしてあげる、待っていたお母さんが来なくても大人の私がいつも一緒にいてあげる事を伝えましょう。

〔レメディー後の変化〕

- ・今回インナーチャイルド癒しがきつくて、おそらく気になる彼と出会ったことにより更に幼少期の経験を体験して感じてるんだと思っています。
- ・自分がこう言えばよかった、自分がいけないだろうか、私は捨てられるんじゃないかだとか、母親に思いをよせ、期待を裏切られた傷が今まさに出てきます。胸が張り裂けそうな思いになってきました。
- ・インナーチャイルド癒しとレメディーによってだいぶ楽になってきましたが、誰かを好きになるとこんなにもインチャが出て精神的におかしくなるんだなと毎日大変でした。頭の中がずっと彼のことでいっぱいになり、眠れなくなった。何も悪いことが起きていないのに見捨てられると感じる。

【3年半後】 2026/5/27

〔主訴〕

① ストレス性円形脱毛症・・・大きく改善 ほとんど気にならない。

〔気になる症状〕

② インナーチャイルドによる感情の乱れ、不安、自信喪失

③ 不眠、眠りが浅い

1：839# 不眠が、その他の病訴によって引き起こされる：

2：818# 落ち着かない睡眠：

3：778# 愛着：

4：795# 自信喪失：

5：797# 悲しさ：

6：1747# <不安から：

7：1758# <不幸な愛：

【選択の根拠】TBRにて以下のようにレパートライゼーションした。

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7
1	Hyos.	7	19	3	1	4	3	1	3	4
2	Puls.	6	21	4	3	3	4	3	4	
3	Ign.	6	21	3	3	3		4	4	4
4	Lyc.	6	17	3	3	3	3	3	2	
5	Bell.	6	16	3	3	1	3	3	3	
6	Nux-v.	6	15	2	3	3		2	3	2
7	Phos.	6	15	4	3	4	1	1	2	
8	Coff.	6	14	4	1	1		2	3	3
9	Calc.	6	13	4	3	2	1	2	1	

【レメディー選択の根拠】

- ・サポートφ見捨て：親から見捨てられたショック・悲しみを癒す。
- ・Calc-p：母への失恋、恐怖（悪い知らせを聞く）
- ・KawHaha-w：他者はどうして自分を受入れてくれないんだという意識が緩む。
- ・Akaif-w：愛する人から大切にされない悲しみを癒す。
- ・Akaif-ike-w：愛する人から冷たくされると受け取ってしまう意識を癒す。
- ・Chish-Dai：ショックやトラブルなどで感情の乱れによるエネルギーの乱れを修復する。
- ・Hyos：TBRで1位、失恋から悪化する。

●3年半後 2026/5/27

過去のトラウマ（親から見捨てられた思い・ショック）、悲しみのインナーチャイルドを自らが癒して乗り越えていけるようサポートすることを目的に以下のようにレメディーを選択した。

随時：サポートめ見捨て + KawHaha-w.(河口浅間神社 母の白滝)
+Akaif-w.(閼伽井不動 手水) +Akaif-ike-w.(閼伽井不動 池の水)
朝：Calc-p.(リン酸カルシウム)
昼：Chish-Dai.(智積院 金堂 大日如来)
夜：Hyos.(ヒヨス)

《言葉のレメディー》

- ・大人の〇〇さんが子供（インチャ）の〇〇ちゃんをケアすることでほんとうの自信が出てきます。『自分のことを大事にしてくれるんだ、自分の気持ちをちゃんと聞いてくれるんだ』とインチャが心を開き始め、大人の〇〇さんを信じられるようになってくるからです。そうしたら不安が次第に消えて大丈夫だやっっていける、という感じで自信に変わっていきます。
- ・誰かや何かが、〇〇さんを幸せにしてくれるわけではないのです。〇〇さんの幸せは自分次第なのですね。自分が「幸せになることを決め」、自分の内面を見て気にかけてあげる。その時の状況に応じて自分自身をケアすること（励ましたり、慰めたり、気分転換したりなど）」で幸せでいられるのです。

《レメディー後の変化 クライアントからのメール》

- ・気持ちがだいぶ楽になってきました。
- ・母に彼の話をすると悪い方に考えて勝手に妄想して自分で自分を傷つけてる、と言われ…あ、インチャだと気づきました。
- ・思い苦しみながらも夜眠れない時に部屋の片付けをしたり、雨の日でもアフターヌーンティーに出かけて気分転換を図るなど自分をケアしていたらインチャがかなり楽になってきました。悲しい気持ちはまだありますが、少しずつ自分を幸せに出来るようになっていきたいと思います。

【まとめ】

主訴のストレス性円形脱毛症、シェディングによる心身の不調も大きく改善しました。特にストレス性円形脱毛症は、

改善するも何度か再発を繰り返し、クライアントを一喜一憂させていましたが、ZEN ホメオパシーによる心・体・魂への

アプローチと「症状はお知らせである」とするホメオパシー哲学とインナーチャイルドを理解することによって、症状が

出た時はインチャの声であり、自分自身をケアすることの大切さに気づいていきました。

また、自分自身を傷つけるパターンも幼い頃の傷つき体験・トラウマから、これ以上傷つきたくない思いからクライアント自身が

身に着けた防衛方法であることに気づいていきました。心の寂しさを他者や何かで埋めようとして心身に負担をかけ、体調を崩す

パターンも自覚し、そういう自分を責めることをやめて傷ついたインナーチャイルドを認めて癒していくことに目覚めていきました。

特に精神症状に対応したサポートシンクチャー、魂に作用する水のレメディー、言葉のレメディーの効果が大きかったと考察します。

心の安定と共にストレス性円形脱毛症の症状も大きく改善していきました。インナーチャイルド癒しはこれからも継続が必要ですが、

クライアントが自らを癒して自分を幸せにしていきたいと願うまでになったことは大きな心の成長の証であり、それは体の症状を通してインナーチャイルドという

心・魂の傷を見出し、自らを癒す方向に向かい実践されたクライアントの努力の積み重ねの結果です。

今回のケース発表は、苦しみの中にいて思い悩む方々の希望や一助になればと願うクライアント自身の思いとご協力のもと発表に至りました。

発表の機会をいただきまして誠にありがとうございました。

クライアントがさらなる深い癒しと成長のために今後も必要なサポートを継続していく所存です。